



# 美しい 県土づくりNEWS



岩手県 県土整備部  
手づくり広報誌第 108 号  
平成 25 年 7 月 25 日発行  
編集 県土整備企画室



## 三陸復興

### 目次

- 2 宮古市田老地区土地区画整理事業・乙部地区防災集団移転促進事業 工事着手！
- 4 東日本大震災津波に関する要望
- 5 片岸海岸防潮堤事業で“被災地初”の事業認定申請
- 6 復興関連道路 主要地方道 野田山形線「大葛の2地区」開通！
- 7 三陸高潮対策事業小本工区安全祈願祭開催！！
- 8 一級河川乙部川乙部砂防えん堤 地域への魚道設置工事説明会開催！
- 9 「森と湖に親しむ旬間」イベント開催のお知らせ

## 宮古市田老で防災集団移転、土地区画整理事業着工！

～被災された方々の住宅再建に向けて、希望の槌音～

平成 25 年 7 月 3 日、宮古市田老地区において田老地区土地区画整理事業・乙部地区防災集団移転促進事業の安全祈願祭が開催されました。

当日は、山本宮古市長など関係者約 70 名が出席し、工事の安全を祈願し、鍬入れなどの神事が行なわれました。

県では、県内 54 地区で防災集団移転促進事業による高台移転が予定されており、平成 25 年度中に全ての地区での工事着手を目指して市町村の事業実施に向けた支援を行うなど、復興まちづくりを促進します。



宮古市田老地区土地区画整理事業  
乙部地区防災集団移転促進事業 工事着手！

沿岸広域振興局土木部  
宮古土木センター  
都市計画課

【田老地区土地区画整理事業の概要<施行者：宮古市>】

本地区は、田老地域の中心市街地として発展してきたが、東日本大震災津波により地区内の建物の大半が流失または破壊されるなど甚大な被害に見舞われています。

このため、本地区においては、防災集団移転促進事業の実施により、被災した住宅の高台住宅団地への集団移転を図るとともに、浸水被害にあった市街地においては、土地区画整理事業の実施により、道路、公園等の整備や宅盤の一部嵩上げ、住宅用地、産業用地等の土地利用の集約化を行い、津波をはじめとする災害に対して安全かつ安心で拠点性の高い市街地を整備し、東日本大震災津波からの早期復興を図ることを目的とします。

田老地区土地区画整理事業の概要

- 1 土地区画整理事業の名称  
宮古都市計画事業 田老地区土地区画整理事業
- 2 施行者：宮古市
- 3 事業期間：H.25.5.24～H33.3.31  
(清算期間5年を含む)
- 4 施行面積：約 19.0ha



土地区画整理事業造成予定地

【乙部地区防災集団移転促進事業の概要<事業主体：宮古市>】

宮古市では、東日本大震災津波で大きな被害を受けた約 60ha の区域を建築制限が伴う災害危険区域に指定し、田老地区の乙部の高台に 285 戸、約 24.6ha の団地造成を行います。県内 54 地区で防災集団移転促進事業による高台移転が予定されており、防災集団移転促進事業による工事着手としては、県内 16 地区となります。

住宅団地	造成面積	造成区画	うち自主再建	うち災害公営住宅	事業期間
乙部団地	約 24.6ha	285 戸	189 戸	96 戸	H24～H27

表 1 防災集団移転促進事業の概要

# 現場ニュース

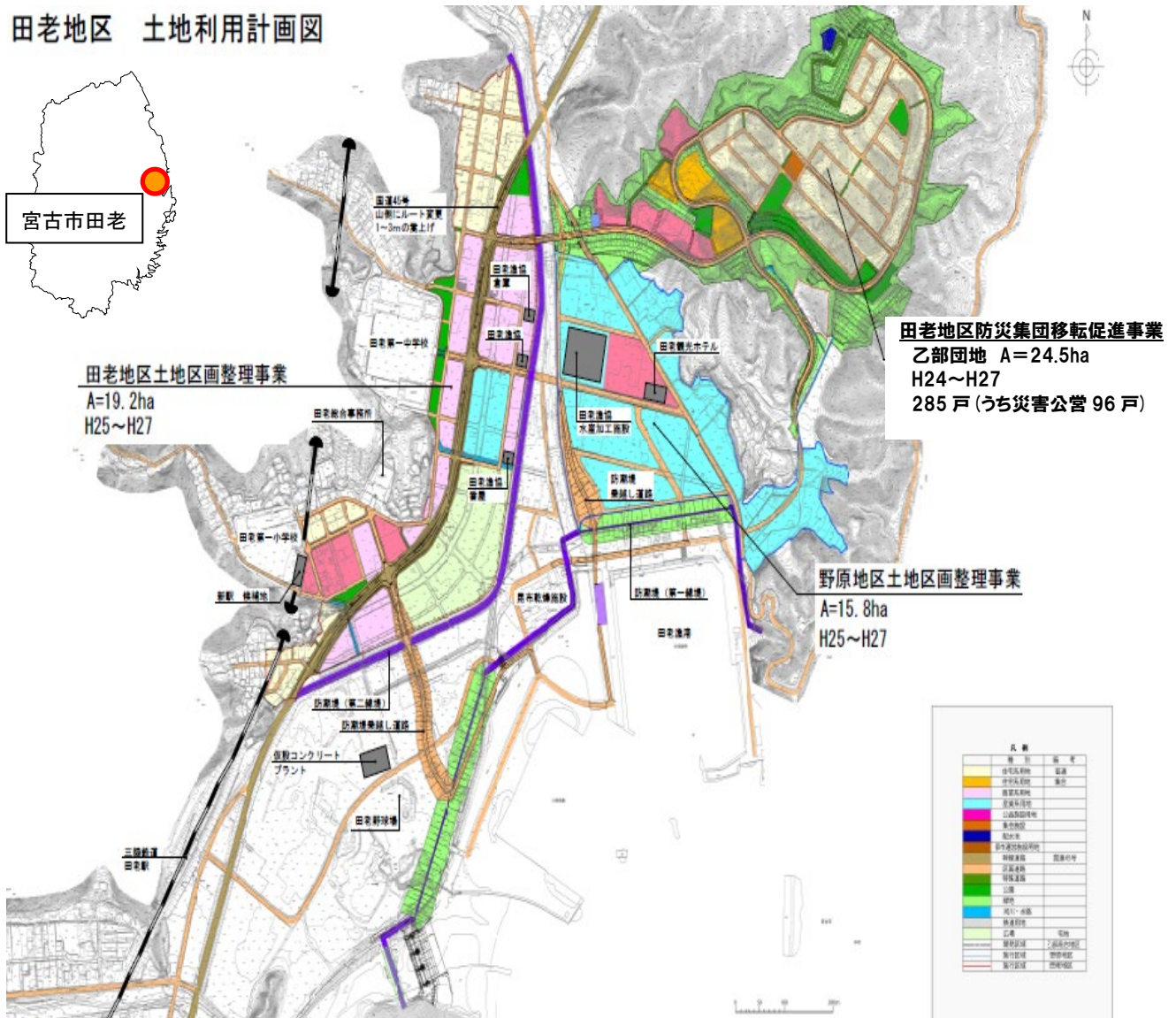


高台造成予定地

**【おわりに】**

今回の安全祈願祭を弾みとして、安全に工事が進められ、一日でも早く完成することを目指し、宮古市など関係機関との連携を図りながら復興事業が加速できるよう取り組んでいきます。

**田老地区 土地利用計画図**



# 東日本大震災津波に関する要望

～ 平成 26 年度政府予算の概算要求に向けて ～

県土整備企画室

県では、平成 25 年 6 月 26 日、東日本大震災津波からの復旧・復興に向けて、国等への要望を行いました。今回は、平成 26 年度政府予算の概算要求に向け、国費による充実した支援と復興財源を確保し、既存の枠組みを超えた強力な復旧・復興対策に、全力を挙げて取り組むよう、政府及び自民党に要望しました。

このうち国土交通省関係については、鶴保庸介国土交通副大臣に対し、「復興道路等」の早期完成や湾口防波堤等の津波防災施設等の復旧・整備、国営復興祈念施設の事業化など『復興事業としての社会資本整備等の促進』をはじめとし、「復興枠」の確保等による社会資本整備費の重点投資、地方負担に対する支援措置などを要望しました。

特に、復興まちづくりの推進にあたっては、**事業用地の円滑な確保が必要**となりますが、土地所有者が行方不明であったり、共有地・相続関係が未整理のケースが多く見られるなど、用地取得の長期化が懸念されています。そのため、県では、『**不明所有者に代わり市町村が適切に管理を行えるなどの特別措置を講じること**』や『**土地収用手続等の迅速化を図ること**』などを求めました。

県では、被災地の現状を踏まえ、早期復興のため国等に対して必要な要望を行っていきます。

「東日本大震災津波に関する要望」の詳細は、岩手県ホームページで公表しています

岩手県 平成 26 年度政府予算要望

検索



鶴保庸介国土交通省副大臣と要望書を手交する達増知事  
右は高橋衆議院議員



自民党大島東日本大震災復興加速化本部長と要望書を手交

## 東日本大震災津波に関する主な要望項目

【国土交通省関係を抜粋】

- 「復興枠」の確保による社会資本整備費の重点投資
- 社会資本整備総合交付金(復興)の全面的な財政支援の継続と予算枠の拡大等
- 被災地の繰越手続の簡素化と復旧・復興の進度に応じた予算配分
- 事業用地の円滑な確保に向けた特例措置
- JR 山田線及び大船渡線の早期復旧に係る国の支援
- 「復興道路等」の早期完成
- 津波対策のための防災施設等の復旧・整備
- 国営「復興祈念施設」の事業化と高田松原津波復興祈念公園に係る全面的な財政支援

復旧・復興事業用地の早期取得に向けて

片岸海岸防潮堤事業で“被災地初”の事業認定申請

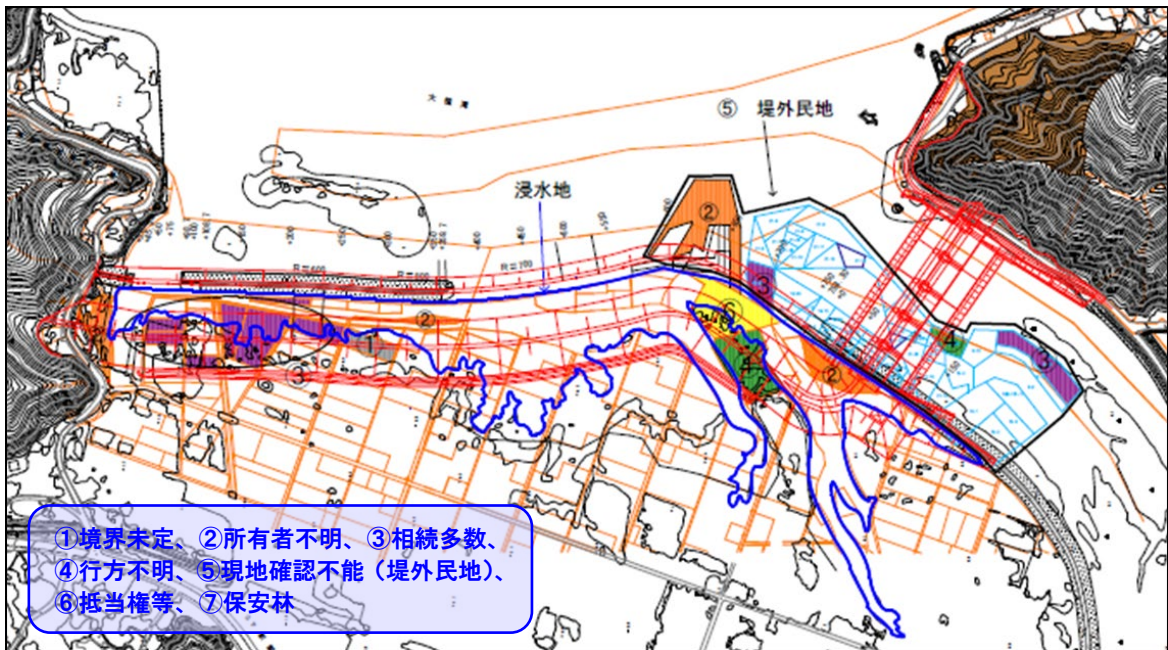
県土整備企画室・河川課・沿岸広域振興局土木部

平成 25 年 6 月 28 日、片岸海岸防潮堤事業（釜石市）において、東日本大震災津波からの復旧・復興事業では初めてとなる土地収用の事業認定申請を国土交通省東北地方整備局長に行いました。

復旧・復興事業の予定地は、所有者不明や相続未処理等の課題が多数存在し、取得に時間を要することが懸念されることから、本事業をモデルケースとして、国と連携しながら、財産管理制度の円滑な活用や土地収用手続の効率化など用地取得の迅速化のための対応策を検討してきました。

本事業では、明治時代に登記された 41 名の共有地で、登記簿に所有者の住所の記載がないことから、所有者が特定できず、土地収用手続によらなければ所有権を取得できないことから、地権者の皆様の御理解と御協力をいただきながら、用地交渉と並行して土地収用手続を実施することにより、早期の用地取得を進めるものです。

◆ 境界未定や所有者不明、相続、行方不明、抵当権など用地取得の課題が多数存在



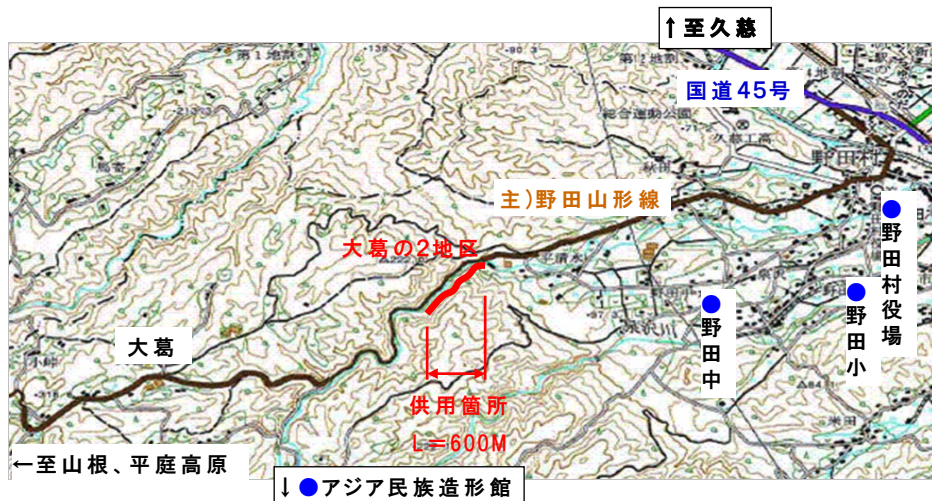
4月3日には、現地で知事と釜石市長、住民代表が意見交換を行い、用地取得課題について、一体となって解決に努めていくことを確認しました。

復興関連道路 主要地方道 野田山形線「大葛の2地区」開通！

県北広域振興局土木部  
道路建設課

主要地方道野田山形線は、野田村の国道45号と久慈市平庭地区の国道281号を結ぶ道路で、野田村大葛地区の現道は、幅員狭小、急カーブ、急勾配など未改良区間が残っており、車両のすれ違いも困難な状態であったことから、現道拡幅工事を進めてきました。

東日本大震災津波後は、災害に強く信頼性の高い道路ネットワークの構築を図るため、復興関連道路に位置付け、早期の供用を目標に整備を進め、平成25年7月2日に供用開始しました。今回の開通により、すれ違い困難の解消等による円滑な通行の確保が図られます。

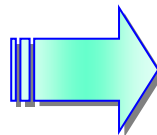


事業概要

- 計画延長  
L = 600m
- 代表幅員  
W = 7.0 (車道 5.5) m
- 総事業費  
C 約 186 百万円  
(地域道路整備事業)
- 事業期間  
平成 22 年度～平成 24 年度



【整備前】



【整備後】

# 三陸高潮対策事業小本工区安全祈願祭開催！！

～無事完成・早期復興を祈って～

岩泉土木センター

東日本大震災津波により甚大な被害を受けた岩泉町小本地区では、既設海岸防潮堤の背後に新たに山付堤防を整備するとともに河川堤防を嵩上げし、津波から居住地を防護する計画を進めています。

工事の無事完了と、小本地区の早期復興を祈願して、7月16日に安全祈願祭がとり行われました。

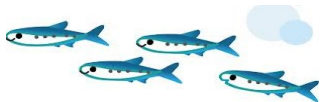


**事業概要**

概算事業費 約1,260百万円

- ・山付堤防 L=121m  
整備高 T.P.+14.7m
- ・右岸堤防嵩上げ L=388m  
嵩上げ高 約1~3m
- ・左岸堤防嵩上げ L=1800m  
嵩上げ高 約1~3m

# 一級河川乙部川乙部砂防えん堤 地域への魚道設置工事説明会開催！



盛岡広域振興局土木部 河川砂防課

地域からの要望を受け設置した魚道が完成したことから、6月29日に地域住民を対象に工事説明会を開催しました。

当日は地元の子供たちによるヤマメとイワナの放流もあり、川に親しむ良い機会となりました。



乙部川流域では、集落排水整備が進み乙部川の水質が改善されたことから、ヤマメやイワナなどが多く生息していると共に、秋にはサケも遡上する川となっています。

しかし、乙部川下流域に砂防えん堤があるため魚が遡上することができない状況でした。

その状況を改善してほしいとの地域住民からの強い要望を受け、魚道設置工事を行ったものです。



ヤマメ・イワナを放流  
元気に育てほしい！

観察窓をのぞく子供たち！





# 「森と湖に親しむ旬間」イベント開催!

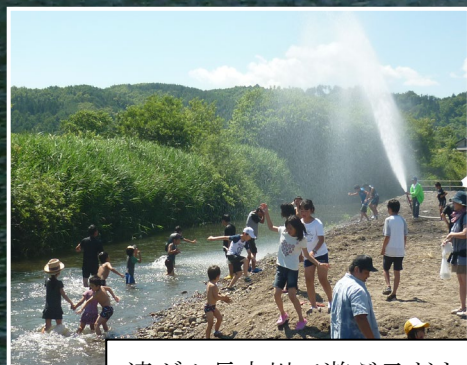


入畑ダム湖面パトロール

生命の源となる水と、その水を供給し、私たちに安らぎを与える森。生活のゆとりや潤いの資源としての、森と湖により親しみ、心身をリフレッシュしながら、森林やダム等の重要性について理解を深めていただくことを目的として毎年7月21日から31日を「森と湖に親しむ旬間」として、各地で催しが予定されています。

## スケジュール

- 7月27日(土) 遊・YOU・入畑 2013! (入畑ダム)  
森と湖に親しむ「遠野第二ダム」の集い・2013  
滝ダム施設見学
- 28日(日) 第6回五葉湖畔の集い「げんきです! 水と緑の鷹生ダム」
- 29日(月) 第20回「早池峰ダム」森と湖に親しむ子どもまつり
- 31日(水) 「森と湖 in 網取」2013! (網取ダム)
- 8月3日(土) 日向ダム湖畔の集い
- 4日(日) 長内川川まつり(滝ダム)



滝ダム長内川で遊ぶ子どもたち



鷹生ダム木工教室



網取ダム魚のつかみ取り



早池峰ダム集合写真